

【地域包括支援センター評価指標を活用した業務チェック】

資料①

■レーダーチャートについて■

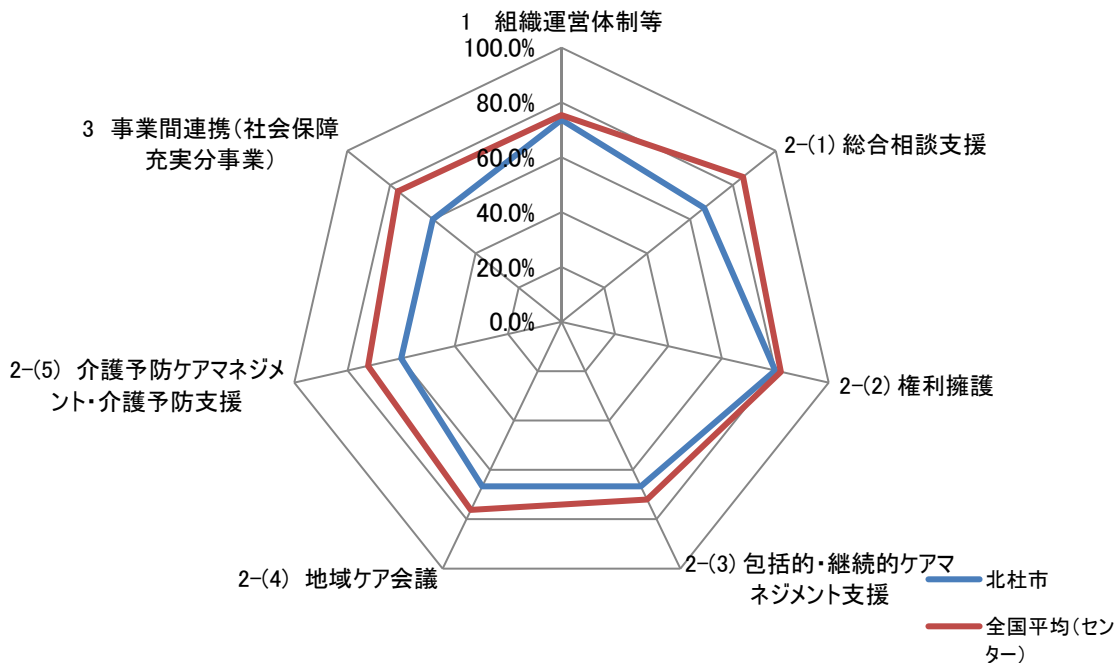
○レーダーチャートに示されている「7項目」の数値は、「1.業務チェックシート」にて入力した評価指標の平均値です。

○例えば、『2 個別業務』の「2-(1) 総合相談支援業務」6の設問に対し、「○」の付いた設問が4か所ある場合は、「2-(1)総合相談支援」の平均値は $4/6 = 66.7\%$ （小数点2位を四捨五入）となります。

○レーダーチャートの数値を確認し、全国の状況と比較することで、センターの「特徴」を確認できます。

		北杜市	全国平均（センター）
1	1 組織運営体制等	73.7%	75.4%
2	2-(1) 総合相談支援	66.7%	84.8%
3	2-(2) 権利擁護	80.0%	82.1%
4	2-(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援	66.7%	72.0%
5	2-(4) 地域ケア会議	66.7%	76.2%
6	2-(5) 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援	60.0%	72.4%
7	3 事業間連携（社会保障充実分事業）	60.0%	76.3%

■レーダーチャート



○当市の地域包括支援センターの特徴
 直営包括であるため、関係部署との連携がとりやすく、情報共有がしやすい。
 行政としての業務とセンターとしての業務が明確に区別されていない部分があり、両者の間に一定のルールが必要である。

○現状で取組が進んでいない業務とその要因

1 組織運営体制

- ・個人情報管理に関しては市の方針、マニュアルに準じているが、包括としてのマニュアルを整備する事ができていない。
- ・現状の庁舎では空きスペースの確保が難しく、相談者が落ち着いて相談できる環境整備ができていない。

2-(1) 総合相談

- ・相談件数の多い中、相談内容の分析や終結条件の設定が明確にされていない。

2-(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援

- ・介護保険担当と地域包括支援センターにおける介護支援専門員へのかかわりが十分共有されていない。介護支援専門員のスキル向上のため、課題を共有する必要がある。
- ・介護支援専門員からの相談内容を十分分析できていないため、支援の方向性がまちまちになっている。

2-(4) 地域ケア会議

- ・個別地域ケア会議や小地域ケア会議を進めてきているが、そこから出された課題を総合的に分析して、施策として検討するまでには至っていない。

2-(5) 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援

- ・自立支援、重度化防止の考え方を共有するため、介護支援専門員だけでなく、各事業所での研修を進めていくことが必要である。

3 事業関連携

- ・医療・介護連携において、医療との連携が十分進んでいない現状がある。
(合同の研修会等への医療サイドからの参加が少ない。在宅医療を実践する医師が少ない)